

発行：チボリ国際里親の会事務局編集部
 事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205
 TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541
 URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

- 1…アンケートの回答をよろしくお願いします。
 ガンダムのお礼状
 理事会・2013年(H25)あり方委員会の報告
- 2…里親の願い
 会員のひろば
- 3…3. 11 大震災の悲しみを風化させないために
- 4…事務局からのおたより
 チボリに行ってみませんか?

学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています

アンケートの回答をよろしくお願いします!

同封しました黄色の用紙をそのままファックス、切手不要のハガキ、もしくはE-mail(ホームページをご覧ください)にて回答下さい。

JOFPAの皆さまへ

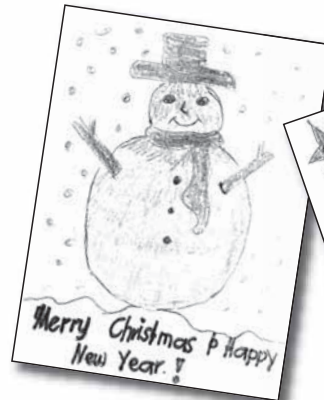
メリークリスマス、そして明けましておめでとうございます。

12月16日にクリスマスパーティを開催し、子どもたちにTシャツをプレゼントいたしました。心より感謝を申し上げます。



真っ白なTシャツ、ありがとう!

マリア・エル・ガンダム



理事会・2013年(H25)あり方委員会の報告

2012年1月27日(金)午後1時より事務局にて理事会・2013年(H25)あり方委員会が開催され、下記について協議されました。

1. JOFPA/SCMSI 経済的支援の覚書について
 3年契約の最終年度(2012年6月から2013年5月まで)の送金額を8,600,000円(昨年より百万円減)とすることで合意され、会長が署名した覚書をSCMSIに送付することになりました。

2. 第32回総会の開催日について
 6月10日(日)午後12時30分から理事・支部長合同会議を開催し、午後1時30分から総会を開催することが決まりました。
3. 支援契約終了後に関するアンケートについて
 各委員案を集約したアンケートについて協議され、会報2月号に「アンケートのお願い」を同封することになりました。回答は3月15日まで事務局に返信していただき、集計結果を4月20日(金)午後1時より開催する次期理事会・2013年(H25)あり方委員会で協議されたのち、6月開催の総会にはかることになりました。



みんなで回しましょう!

里親の願い

チボリの子どもたちへ

会長 南 昌宏



出発進行!

橋のない川の向こう岸で、何時間も前から待ち続け、ドラや歌声とほほえみを絶やさず、部落の人達総出で出迎えてくれた顔、顔、顔…。

27年前に出会ったあの時の子どもたちの表情が、今も鮮明に思い出されます。

真っ白な歯をみせながらちょっとはにかみ、澄んだ瞳でみつめられたとき、私の心は正直うろたえ、返す顔を失っていました。

汚れ曇った顔なのに、そうとも知らずに生きてきた、恥ずかしい自分に気づかされた瞬間でした。

今も、みなさんのほほえみと瞳を想うたびに、私が失ったものがなんだったかを反すうしています。

太陽が顔を出す頃に起きて、川で顔や体を洗い、豚に水を飲ませ、洗濯をし、竹筒に水を汲んで家まで運んでいましたね。

高床式の竹の床下で、朝食は雑草の中で見つけたタロイモを水洗いし、集めた薪で煮た食事でしたね。

炊事や洗濯の汚れた水は畑の野菜に、芋のしっぽは猫や鶏に、芋が一つしかないときは、家族で分け合っていましたね。

私は、芋がこんなにおいしいとは、そのときまで知りませんでした。

食事が済むと、お母さんは洗濯、お父さんは魚獲り、子どもたちは草取り、そして薪を持って学校へ。

学校では、先生がこられるまでは、教室の入り口に、私語もせず一列に並んで待っていました。

授業中は、先生のお話を一言も漏らさないよう、目をそらさないで聞き入っていましたね。

給食時は、お母さんが野菜などを持って来て、子どもたちが持ち寄った薪で料理をしていました。

昼休みになると、履物を石代わりにしてケンケンしたり、いらぬ紙を丸めてサッカーをしたりと、工夫を楽しんでいましたよ。

帰り道、にわか雨に会うと、大きなはっぱを頭へのせ、家に着くと米つきや子守のお手伝い。

太陽が沈む頃には、家族が抱き合っておやすみなさいと…。

自然のままを全部受け入れ、あるものを分け合い、ないものに愚痴や不平を持たず、よこしまな欲に溺れ争わない生き方には、ただただ敬服するばかりです。

かつては、日本人も、「人間は自然や人、そして、あらゆるいのちに生かされるという『おかげ』の中に生きる身である」ことを、真のよろこびと感じていました。

しかし、「追いつき追い越せ」の近代化の波にさらされた私たちは、「おかげ」のよろこびを忘れ、身勝手な自然開発と消費という経済活動を武器に、自立と幸福は、勝ち取るものと錯覚するようになってしまいました。

そうした傲慢さは、私たちを際限のない消費欲の闇に迷い込ませ、今、自然からのしっぺ返しにとまどいつつ、見せかけの幸福に病んでいます。

みなさんの勉学が、人間中心で我欲の格差社会への警鐘や抑制となり、慎ましく生きる品性と、誇りを高めるものであってほしいと切に願います。

それが、内なる自立であり、壊れることのない、真の幸福だと確信しているからです。

どうか、その瞳が曇らないように…。

会員のひろば

加納 行 (東京都)

お世話になっております。何人かの里子も卒業してしまいました。これからは全体支援としての送金を続けたいと思います。皆の幸福を願って…。

沖野和利 (静岡県)

永い間、音信不通で申し訳ありませんでした。総ての生活が一からやり直しになり、まだ安定生活に入ったとは言え切れませんが、可能な限りチボリの子どもたちとは繋がりを続けたい所存です。しかし、今後の事はまだまだ未知数です。

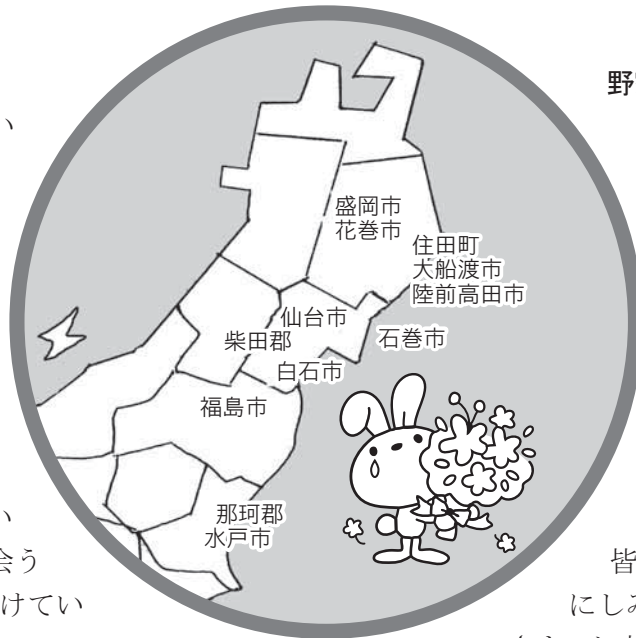
H23. 3. 11に発生した未曾有の東北地方太平洋沖地震（M9.0）からまもなく1年になります。

昨年暮に行われた仙台市のイルミネーション点灯式で「今年はたくさんの涙が流れたが、全国の応援で希望の光がともった」と奥山市長の挨拶がありました。厳寒の地で初春を迎えた被災者の方々にたくさんの希望の光が届くことを願い、東日本の会員の方からお声を届けていただきました。

3. 11 大震災の悲しみを風化させないために

山本実紀（岩手県花巻市）

現在は内陸部に暮らしていますが、住田町に25年以上関わりが深かった私には、陸前高田と大船渡が近い町だったし、友人・知人も多い。帰らぬ人たちの想いながら震災以降もその地に留まり、人が集う場を開いている友人たちがいる。今までと同じではない日常の中で、人とひとの出会いが必要とエールを送り続けている。



野家裕子（宮城県仙台市）

グラグラッと揺れがきて、慌てて亡き母の祭壇（義母は3月6日に亡くなりました）のろうそくの火を消して、築百年の家から外へ飛び出しました。あとはただ庭で恐ろしい地鳴りのなかに身をすくませるばかりでした。今、無事に暮らしております幸せは、皆さまのお力添えのお陰と、身にしみて感謝致しております。皆さまのお幸せを念じながら。

大友孝子（宮城県仙台市）

宮城県は地震津波に加え福島原発事故が大きく係わり、今も不安と孤独の中で生活している方が沢山おられます。宮城県死者9506人行方不明者1805人と全国一です（1月12日現在）。復興までまだまだ先が見えません。生と死は紙一重で、生かされた方々も苦悩の深さは千差万別です。

その中で皆さん元気を出そうと色々なイベントを行っています。全国、世界中の方々から沢山の励まし義援金を頂きどんなに慰められ、励まされていることか。私たちがもし逆の立場だとしたらこんな出来るかしらと友と話しました。

これから続く長い道程をどうぞ忘れないで見守ってください。私は幸い一部破損で被害は少なくボランティアをする側におりますので、ご安心下さい。

佐藤文雄（宮城県柴田郡）

今までに無い巨大地震で津波、火災が多数発生し、死者や家屋の全半壊もあちこちであり犠牲者が多数出ました。しかし、チボリの会員の方に亡くなられた方はおられないと聞きました。生涯忘れることの出来ないこの恐ろしい体験をしました。これから復興するまで皆さまと共に助け合えたら幸いです。絆を大切に!!

溝口道代（茨城県那珂郡）

我が家は室内や外壁に大きな亀裂が入るなど傷みましたが、直接被害を受けなかった日本中の人たちも何かしら心の傷を負ったのではないのでしょうか。東北の被害を受けた方々を応援しながら、みんなで少しずつ前に進んでいけたらいいですね。

事務局の前田さんも宮城県石巻市出身です。津波災害で実家の家屋の1階まで浸水。ご家族の安否が確認できない日々心を決めましたが、10日後ご無事の吉報に喜び合いました。

大震災の日、宮城県白石市にいた私は各地で交通網のストップと新幹線不通のため、東京に戻れたのは1週間後。同郷の被災者の方々を残して去ることに…後ろ髪をひかれる思いでした。

去年は甚大な地震津波被害の悲しみに暮れました。これからも被災地のことを忘れずにいつも心を寄せ応援していけたらと思っています。

（事務局 関根）

事務局からのおたより

■総会開催の日程について

今年の総会は6月10日(日)13時30分からを予定しています。詳細はチボリニュース5月号でご案内します。

■里子の卒業のお知らせ

JOFPA里子の卒業の報告が現地から届き、各里親の皆さまにご連絡をしております。

■会費状況のお知らせ

正会員番号AからGまでの方に会費状況を今号の

チボリニュースに同封しました。ご確認ください。番号HからLまでの会員の方は次号のニュースに同封予定です。

■ゆうちょ銀行からの会費自動引落

コンピュータートラブルが原因で、本来1月末に回収すべきでない22名の方の口座から誤って引き落とししてしまいました。22名の方にはご連絡を差し上げ処理をしております。ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます

敬称略(2011年11月1日~2012年2月2日)

■ご寄付者 (ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます。)

東文恵 今泉典子 江川広子 大須賀育代 太田れい子 大友孝子 沖野和利 柏木三知子 加納行
河田洋子 坂戸たつみ 坂詰美代子 杉山幸子 鈴木静代 関根幸重 関根千恵子 園田多代子
田井和子 高井和子 戸井田爾 東光社 富永正子 橋本あき応 波多江寿子 日名恵次 平田悠貴子
平山妙子 福井尚二 福寿恵美 浪治清一 前田佳代子 増田憲治 森崎純子 山崎真理子 匿名1名

■切手 (未使用、使用済含む) その他

荒木のり 伊沢美佐子 池田美智子 内川明彦 岡田満喜子 荻原美優 笠井たい子 桂典子 角谷孝子
柏崎重徳 加藤和子 川島良司 吉啓信義 小室佑子 五井早苗 佐藤亜矢 佐藤春子 須田晃 芹田美津子
平由美 大濠聖母幼稚園慈恵会 高橋京子 高見慶子 田中恒子 東光社 中川由美子 中西愛子 橋岡トキ子
福井尚二 松本弘子 安井恵美子 安田 ユキミコーポレーション(株) 吉田朝子

お送り下さる方々に、その都度お礼を申し上げられませんが、紙面にて感謝をお伝え申し上げます。
今年度の決算が終わりましたら、売上金を報告いたします。

■ボランティア (会報、バザー、翻訳、その他)

安藤美知子 大須賀三歡 恩田和美 佐伯三郎 武田とよ子
長崎すみ子 富江崇 増田憲治 溝口道代 吉永洋子 渡辺洋子

■編集後記

先日、愛犬と散歩の時に公園で水仙の黄色のつぼみを発見しました。日が沈む時間も日に日に遅くなり、春がやってくる気配を感じます。今年は明るい年になりますように。(向山)

お名前の掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をください。

サラマッ!
チボリ語で
ありがとうの意

チボリに行ってみませんか?

有志によるチボリ訪問予定 (2012年3月19日から27日まで)

| 月日 | 旅行日数 | 訪問先 | 日程 |
|----------|-------|-------------------------|------------------------------------|
| 3月19日(月) | 旅行1日目 | 成田・関空~マニラ | 空路マニラへ、着後ホテル、マニラ散策(マニラ泊) |
| 3月20日(火) | 2日目 | マニラ~ゼネラルサントス~マーベル~レイクセブ | 空路ゼネラルサントスへ パシオニストナン訪問 (レイクセブ泊) |
| 3月21日(水) | 3日目 | チボリ | ラヒット校訪問 (レイクセブ泊) |
| 3月22日(木) | 4日目 | チボリ | コミュニティーなど見学 (レイクセブ泊) |
| 3月23日(金) | 5日目 | チボリ | デコロン高校卒業式 (レイクセブ泊) |
| 3月24日(土) | 6日目 | チボリ | メインセンター卒業式 (レイクセブ泊) |
| 3月25日(日) | 7日目 | チボリ | SCMSI実施プロジェクトの見学 (レイクセブ泊) |
| 3月26日(月) | 8日目 | チボリ | 現地との交流 |
| 3月27日(火) | 9日目 | ゼネラルサントス~マニラ~成田・関空 | 空路マニラ経由日本へ着後、ご自宅へ |

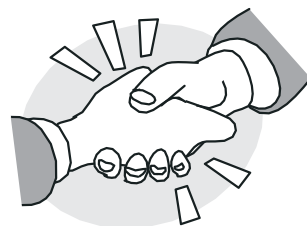
費用はスケジュールと人数確定後算出しますが、約13万円(航空券代とホテル代)ほどを予定。

申込締切2月末まで お世話人 河原紀夫

ご参加されたい方は電話 03-3835-1545 (午前10時より午後3時30分まで)にご連絡ください。

卒業式予定表

| |
|------------------------------|
| ベネフ、ツプラン小学校 |
| エル・ロウ、ラヒット小学校 |
| ニアン小学校 |
| デコロン高校 |
| メインセンター、 レムエハク小学校・高校、カレッジ |



～アンケートの回答を返送してください～

2013年（H25）あり方委員会

本会は、会員の皆さまの長期にわたる心温かいご支援を得て、レイクセブ地域のチボリ族の教育支援活動は30年を超えました。2013年（H25）の5月で、一旦その支援契約に終止符を打つことが決定されています。

「あり方委員会」では、契約終了後のことについて会員の皆さまにアンケートを実施し、今後の活動の参考にさせていただくことになりました。

なお、皆さまからのご返答の参考に「会のあゆみ」を載せました。よろしくご配慮のうえご意見を含めた回答をお願いいたします。

● 「チボリ国際里親の会」のあゆみ ●

1980年 昭和55年1月に山口県で発足

1994年 10年間の支援契約締結

* 契約は毎年更新可能であるが、2004年5月31日に満了する
支援を継続するためには、新たな内容で新規契約する必要がある

1995年 事務所の移転（山口県宇部市から東京都国立市へ）会員約1700名

2000年 事務所の移転（東京都台東区）小学校21、高校3、大学1を支援

2004年 支援契約の再締結（2007年5月31日まで）

*以降3回の更新をし、2013年（H25）が、その最終年になっています

2010年 会の30周年事業を実施する

*チボリから3人の代表者を招聘し、会員との交流会を開催する

2012年 現在の会員数は約700名 小学校6、高校2、大学1を支援

■ SCMSI とチボリ国際里親の会（JOFPA）との契約の終了について

JOFPAの会員数が大きく減少し、支援力が減退してきていますが、SCMSI周辺の状況はレイクセブ町の公立校増加によって、その果たす役割も変遷しています。

これは、JOFPAの支援活動を基盤にしつつ、チボリの人たちの自助努力による意識や生活の向上と併せて、政府補助などから彼等が自立するための環境整備が進展してきたことで、我々の支援が実を結んできた結果でもあります。

□ 現在のチボリの子どもたちの環境、及び現況について

レイクセブ町の中心部は観光開発が進んできてインフラの整備は進展し、経済力は大幅に向上しています。しかし、辺境の山間部では、いまだ水道も電気もない生活状況なので、子どもたちの暮らしは、その経済格差や学習をするための環境格差が大幅に違ってきています。

現地からの要望に関して（現地調査の結果報告より）

*町の教育担当者からは未就学児の数の多い山岳地区の教育費用の支援を続けて欲しい。

SCMSIからは、JOFPAの支援によって成果を挙げてきた各種の支援策を、より一層に推進させたいとの要望があります。

*JOFPAがSCMSIと提携をして推進させてきたこと：医療、職業訓練の拡大、学校運営の自主財源事業（農業・畜産等）、工芸品製造販売、等

アンケート

該当するところに○を付けてください

- 問1 チボリ国際里親の会が発足した年をご存知ですか。 1.はい 2.いいえ
- 問2 会員数が減少してきていることをご存知ですか。 1.はい 2.いいえ
- 問3 現在の支援契約に期限があることをご存知ですか。 1.はい 2.いいえ
- 問4 「2013年(H25)あり方委員会」をご存知ですか。 1.はい 2.いいえ
- 問5 山岳地域に未就学児童が散在していることはご存知ですか。 1.はい 2.いいえ
- 問6 会はどのような支援をしているかご存知ですか。(複数回答可)
1. 子どもの教育費 2. SCMSI の運営費(先生の給料などを含む)
3. 卒業研修旅行費 4. クリスマスプレゼント 5. 健康診断等を含む医療費
- 問7 あなたの支援活動方法をお答えください。該当するところに○をつけてください。
1. あなたは里親になり里子を持っている。【小学生 高校生 大学生】
2. あなたは里子を持たずに、会の活動全体支援をしている。
- 問8 2013年契約終了後に関して、あなたのお考えをお尋ねします。
1. 会員として支援を継続する 2. 支援を継続しない

ご協力いただきまして、ありがとうございました。なお、ご意見やご要望などを書いていただくと「委員会」での話し合いの参考にさせていただきますので余白をご活用ください。

2013年(H25)あり方委員会：南 鬼村 小林 河原 大須賀
石渡 山内 山崎 関根

会員番号：

お名前：

メールアドレス：

電話：

3月15日(木)までにご回答ください。

☆ハガキ☆ FAX 番号 03-3835-1546 ☆E-mail jofpa-tokyo@jofpa.org
チボリ国際里親の会 事務局